



「オトメエンゴサク(十和田)」

東日本大震災によって発生した災害廃棄物の処理について

【廃棄物・リサイクル対策課】

東日本大震災から1年が経過しました。

現在、処理・処分が完了した災害廃棄物の割合は、岩手県で全体の約11.3%、宮城県で同18.4%、となっており（5月21日現在）、一步一步着実に復興に向けて処理が進んでいます。しかしながら、震災により大量に発生した災害廃棄物（がれき）は、今なお被災地復興の妨げとなっており、一刻も早い処理が求められている状況に変わりはありません。特に、これから夏に向けて、仮置場での火災の発生や害虫、悪臭の問題が悪化するおそれがあり、被災地の方々の生活の場に近い一次仮置場については、一刻も早い災害廃棄物の処理が必要です。

被災自治体では、災害廃棄物処理を加速させるべく様々な努力をしています。岩手県の太平洋セメント大船渡工場では、一日あたり最大で750トンの災害廃棄物の処理を進めており、岩手県の災害廃棄物処理の拠点となっています。宮城県では、県内に計29基の仮設焼却炉を設置して処理を進めることとしています。5月13日には、石巻市潮見町で建設を進めている仮設焼却



東松島市の仮置場での作業状況

炉5基のうち1基の完成を受けて火入れ式が行われ、細野環境大臣も出席しました。こうした取組により、災害廃棄物処理の一層の加速化が期待されます。

このように、被災自治体では災害廃棄物の県内での処理や再利用に向けて懸命に努力を続けていますが、それでも十分な処理能力を確保できていないため、被災地以外の地域の施設を活用した広域処理を推進していくことが不可欠です。5月21日、岩手県及び宮城県における災害廃棄物の推計量の見直しが行われ、とりわけ宮城県では当初推計より大幅に減少しましたが、それでもなお、岩手県では約120万トン、宮城県では約127万トンの広域処理が必要であり、広域処理の推進が重要であるという点に変わりはありません。



石巻市の火入れ式に出席し、ぶら下がり会見に応じる細野環境大臣（中央）

て、様々な機会を通じた広域処理の協力要請や受入自治体に対する支援の充実等を進めています。5月25日には、災害廃棄物の再生利用を促進するために、復旧復興のための公共工事における災害廃棄物由来の再生資材の活用についての考え方を示しました。

東北地方環境事務所でも環境省本省と連携して災害廃棄物処理の推進に向

特に、今回の推計量の見直しにより大量の不燃物の処理が課題であることが明らかになっており、県内での処理や復興資材としての活用をできる限り行った上で、それでも県内での処理が困難なものについては広域処理を進めていく必要があります。

環境省では、被災自治体の県内での処理や再利用を促進するための支援を行うとともに、広域処理の推進に向け



石巻市二次仮置場



名取処理区の仮設焼却炉

けた取り組みを進めており、例えば岩手県庁及び宮城県庁内に職員を配置して県の業務の支援を行うことや、広域処理に関心のある自治体職員や地方議会議員等が被災地を視察する際の対応、受入れを検討している東北地方の自治体が開催する住民説明会への参加など、災害廃棄物の処理の推進、必要な広域処理の実現に向けて全力を挙げて取り組んでいます。

東北の1日も早い復興のため、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、災害廃棄物の処理及び広域処理については、以下のURLを御参照下さい。

環境省広域処理情報サイト <http://kouikishori.env.go.jp/>

「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」を策定しました。

【国立公園・保全整備課】

環境省は、5月7日に「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」を公表しました。

このビジョンは、環境省が三陸地域の自然公園等を活用して地域の復興に資する取組を展開していくための方向性をとりまとめたものです。

策定に当たっては、中央環境審議会の答申を踏まえるとともに、関係地域のみなさまとの意見交換等を行いました。

ビジョンには、グリーン復興プロジェクトとして、三陸復興国立公園の創設と付随する利用施設の整備、復興エコツーリズムの推進、東北海岸トレイルの設定、自然環境モニタリングや藻場・干潟の再生といった取組が盛り込まれています。

今後、各地域と一緒にこれら取組を実現させ、三陸地域の復興に貢献していきたいと考えています。

参考：<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15188>

～2012新宿御苑 みどりフェスタに出展～

【国立公園・保全整備課】

平成24年4月29日（日）新宿御苑において「2012新宿御苑みどりフェスタ～みどりフェア&国立公園フェア～」が開催されました。自然観察会やクラフトなどの体験プログラムや国立公園の情報・物産の販売、生物多様性に関する情報提供などが行われ、当日は晴天に恵まれたこともあり、来場者数は17,195名と大盛況となりました。

東北地方環境事務所は「三陸復興の歩み～三陸の現在（いま）を～」と題し、三陸地域の震災直後と現在の復興の様子、三陸の魅力などを紹介したパネル展示を行いました。

また地元新宿区のケーブルテレビからも取材を受け、展示内容や三陸地方の復興の様子などを紹介しました。





岩手県陸前高田市からはマスコットキャラクターの「たかたのゆめちゃん」が駆けつけてくれました。多くのマスコットキャラクターが登場する中で「たかたのゆめちゃん」は子ども達からダントツの一番人気！多くの子ども達に囲まれ、ブース周辺は常に賑やかな雰囲気になっていました。

また、今回の目玉の一つでもある「三陸へのメッセージコーナー」をブースの一面に設け、来場者に三陸への想いを込めたメッセージを描いてもらいました。



メッセージは三陸で獲れたホタテ貝殻に描いてもらい、実際の養殖との同じ方法の「耳つり」という手法で吊るしました。来場者には様々な年代の方々がいらっしゃいましたが、特に多くの子ども連家族に喜ばれました。

メッセージは「遠くからいつも応援しています!」「LET'S GO!! 三陸!」や、字を覚えたばかりの子ども達からの「とうほくがんばれ!」「みんなが えがおに

なりますように」といった内容で、震災の復興は色々な人に励まされているという事を実感しました。

我々職員も一刻も早い復興と皆様が笑顔になれるような取り組みを今後も続けていきたいと思えます。

東北地方環境事務所の行事予定(平成24年6月～平成24年7月)

月日	時間	行事内容等		場所等	担当課等
6月2日	10:00～14:30	自然観察会	網張の森で生き物たちの躍動を見る	網張VCから網張の森	盛岡自然保護官事務所(小笠原)
6月2日	9:00～15:00	新緑のブナ林トレッキング 大谷地・長沼まで歩こう	芽吹きが始まる時期、美しいブナ林の散策をしながら様々な木々の芽吹きなどの観察会	八幡平大沼周辺	鹿角自然保護官事務所(福原)
6月9日	未定	獅子ヶ鼻湿原観察会	25周年記念イベント	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)
6月9日～10日	8:30～16:00	自然観察会「小岳登山と田苗代湿原散策」	新緑の小岳登山と花の田苗代湿原を散策	白神山地世界遺産センター(藤里館)	藤里自然保護官事務所(福地)
6月10日	9:00～15:00	自然観察会	新緑のブナ林散策しながら春の植物観察	森吉山野生鳥獣センター	森吉山野生鳥獣センター運営協議会
6月10日	9:00～15:00	第1回秋田駒ヶ岳自然観察会「シラネアオイ」	早春の秋田駒ヶ岳、雪解けとともに咲く「シラネアオイ」の観察会	休暇村乳頭温泉郷	鹿角自然保護官事務所(福原)
6月16日	9:00～15:00	田代湿原・グダリ沼自然観察会	新緑とレンゲツツジに彩られた田代湿原、湧水のグダリ沼を巡り初夏の花を楽しみます。	青森市田代平(県営田代平駐車場)	十和田自然保護官事務所(松山)
6月16日	8:30～16:00	「目指せ頂！月山登山」	初夏の風を感じながら、全長9kmのコースを歩き、宮古湾を望む月山頂上を目指します。健脚者対象です。	宮古市役所前	宮古自然保護官事務所(深谷)
6月16日	未定	黒崎仙狭を訪ねるみち 自然観察会	岩手県陸前高田市黒崎の自然歩道を歩きながら、ニッコウキスゲ等の初夏の植物を観察します。	黒崎仙狭駐車場	大船渡自然保護官事務所(久保井)
6月17日	7:00～15:00	自然観察会	畦畔林から高層湿原まで(千沼ヶ原)	平ヶ倉登山口から千沼ヶ原	盛岡自然保護官事務所(小笠原)
6月17日	未定	有川道を歩く	月山四合目から月山牧場までのブナ林散策	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)
6月23日	9:00～16:00	ふれあい登山① 焼山トレッキング「イワカガミ」	斜面一面に広がるイワカガミ群落の焼山へ。湯ノ沢から焼山、玉川温泉に抜ける健脚コース	八幡平焼山	鹿角自然保護官事務所(福原)
6月24日	9:00～15:00	目指せ外輪山のとっぺん！十和田山	十和田湖の御倉半島を眼下に望む十和田山を宇樽部から登山します。ハクウンボクやサイハイランなどの夏の花を観察します。	十和田市宇樽部棧橋前駐車場	十和田自然保護官事務所(松山)
6月24日	9:00～12:00	ふれあい登山② 大場谷地ハイキング「レンゲツツジ」	レンゲツツジやコバイケイソウの群落を求めて初夏の大場谷地へ。	八幡平大場谷地	鹿角自然保護官事務所(福原)
6月24日	9:00～15:00	ワシ・タカ入門	ワシタカ類を初めて観察する方にもその魅力や観察方法をお伝えします。	最上川河川敷	鳥海南麓自然保護官事務所(水落)

月日	時間	行事内容等		場所等	担当課等
6月24日	未定	鶴巻道を歩く	月山七合目から北月山荘まで歩く	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)
6月30日	7:30~15:00	自然観察会	火山地形と高山植物が待つ秋田駒ヶ岳	国見口から秋田駒ヶ岳	盛岡自然保護官事務所(小笠原)
7月1日	8:30~16:00	湿原と十和田湖展望！白地山登山	白地山を登山し、白地湿原の高山植物や十和田湖を眺望	小坂町大川岱駐車場	十和田自然保護官事務所(松山)
7月1日	未定	月山開山祭とクロユリ観察会	クロユリを観察し、姥沢まで歩く	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)
7月8日	8:30~16:00	自然観察会「ニッコウキスゲの田苗代湿原散策」	ニッコウキスゲが群生する田苗代湿原を散策	白神山地世界遺産センター(藤里館)	藤里自然保護官事務所(福地)
7月8日	未定	秋田駒ヶ岳へ登ろう	25周年イベント 秋田駒ヶ岳登山	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)
7月11日	18:00~20:00	生物多様性国家戦略の改定に係る説明会	生物多様性国家戦略の改定に当たり、今回の改定の趣旨を伝えるとともに広く意見を伺うことを目的とした説明会	TKP仙台カンファレンスルーム2A	野生生物課(木内)
7月21日	9:50~14:00	夏の十和田湖ぐるっとクルーズ！船上観察会	夏の十和田湖を遊覧船でクルージング	十和田湖遊覧船棧橋	十和田自然保護官事務所(松山)
7月21日	未定	自然観察会	生出キャンプ場と周辺での自然観察。ヒメホタルが見られる。	生出キャンプ場	十和田自然保護官事務所(松山)
7月21日	9:00~16:00	陸中海岸エコウォーキング	陸中海岸の自然を楽しみながらクリーン活動を行います。	宮古市役所前(田野畑村で開催予定)	宮古自然保護官事務所(深谷)
7月28日~29日	午前中予定	遊歩道観察会(名前を募集)	25周年記念 遊歩道の名前を募集する このイベントの参加者のみ応募できる	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所(坂本)



キクザキイチゲ(蔦野鳥の森)

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23

第2合同庁舎 6階

電話 : 022(722)2870 (代表)

FAX : 022(722)2872

ご意見や情報は下記まで

○リサイクル・廃棄物・地球温暖化等に関すること

電子メール : REO-TOHOKU@env.go.jp

○国立公園・エコツーリズム・野生生物・外来生物等に関すること

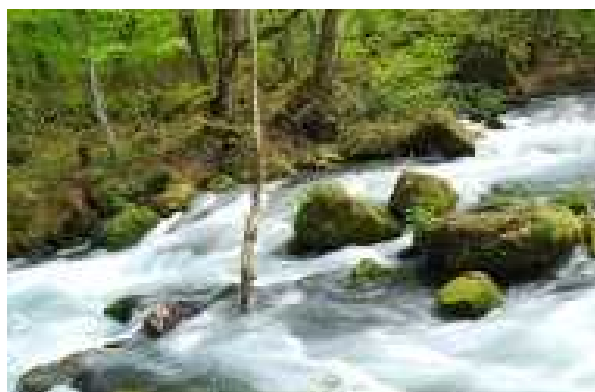
電子メール : TOHOKU@env.go.jp

写真コーナー

十和田八幡平国立公園

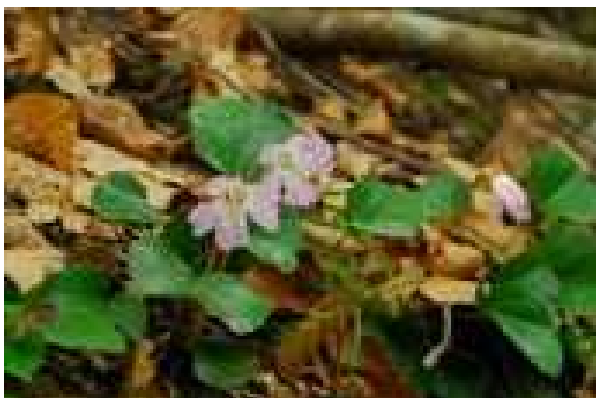


新緑の鳶



新緑の奥入瀬溪流

白神山地世界遺産地域



オオイワウチワ(暗門ブナ林散策路)



新緑のブナ林(暗門ブナ林散策路)

陸中海岸国立公園

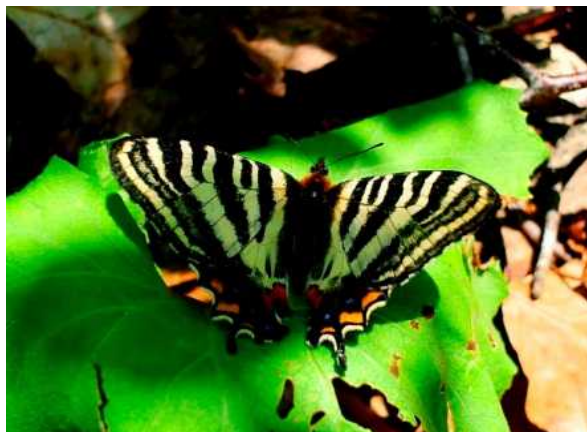


春の光とキビタキ



観察会で開花をみせたカタクリ

鳥海国定公園



ギフチョウ



クマタカ

磐梯朝日国立公園



フデリンドウ



櫛ヶ峰(磐梯山)

仙台海浜鳥獣保護区



お気に入りの餌場！(伊豆沼)



パクリ！チュウサギ(伊豆沼)